学校番号	209

令和８年度　理科

教科	理科	科目	物理基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	高等学校　改訂　新物理基礎						
副教材等	改訂　ネオパルノート　物理基礎						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

ノートや配布したプリントをきっちりと書き込み、内容の理解に努めてください。授業は、積極的に参加し、わからない点や疑問に思ったことは積極的に教員に質問するようにしてください。予習復習をしっかり行い、内容の理解を深めるようにしてください。考査前には、教科書を読み、示された範囲の問題集をやっておく、事前の演習問題などは、何度もくりかえしやり理解を深めるようにしましょう。実験では積極的に取り組み、自分で考える力をつけてほしいと思います。
考査は、問題文をしっかりと読み何を聞かれているのかをよく理解し答えるように。また、時間が余れば見直すようにしてください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
物理現象についての知識、実験技術が習得できている。
【思考力、判断力、表現力等】
グループ学習で積極的に取り組み、現象や実験結果から考察することができる。
【学びに向かう力、人間性等】
新たな課題や目標設定を行うことができ、課題を解決することができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・物理全般の現象やしくみが理解できているか。 ・実験操作を習得し、実験レポートに結果をわかりやすくまとめることができるか。 ・ノート・プリントをわかりやすく整理しているか。	・こちらの発問に対し、的確に答えられているか。 ・物理現象についての理解が深まっているか。 ・グループワークなどで発言できるか。また内容を取りまとめられるか。 ・レポート作成の内容。	・物理全般について、興味・関心をもち、積極的に授業に取り組むことができるか。 ・仲間と協力して実験・探究する姿勢を示すことができるか。 ・小テストなどにまじめに取り組めるか。 ・レポート作成が行えるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元（題材）の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	物体の運動	物体の運動 1 速さと速度 2 等速直線運動 3 速度の合成 4 相対速度 5 加速度 6 等加速度直線運動 7 重力による運動	a:等速度運動、等加速度運動の問題が解ける。 b: 位置 x･速度 v･加速度 a を v－t グラフで考えることができる。 c:実験に意欲的に参加し物体の運動を記録タイマーやグラフを用いて解析･計算できる。	定期試験 小テスト 実験	定期試験 小テスト 実験 レポート	プリント 小テスト レポート 実験
2学期	力と運動・エネルギー	力と運動 1 力とは何だろうか 2 力のつり合い 3 作用・反作用の法則 4 慣性の法則 5 運動の法則 仕事とエネルギー 1 仕事 2 仕事の原理と仕事率 3 運動エネルギー・ 位置エネルギー 4 力学的エネルギー保存	a:力のつりあい･運動の法則･力学的エネルギー保存則の問題が解ける。 b: 力学的エネルギー保存則から落下地点を予測できる。 c:実験結果から運動の法則を確かめることができる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	プリント 小テスト レポート 実験
3学期	波動	波の性質 1 波の伝わり方 2 縦波と横波 3 波の重ね合わせ 音 4 共振・共鳴 5 弦の振動 6 気柱の振動	a: v＝fλの問題が解ける。 b:重ね合わせの原理で波の現象を予測できる。 c: 気柱共鳴の実験で音叉の振動数を求めることができる。	定期試験 小テスト	定期試験 小テスト 実験 レポート	プリント 小テスト レポート 実験

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度